2018年12月期　第１四半期決算説明会

GMO TECH

東証マザーズ<６０２６>

2018年4月27日

１．結論と要約
２．決算概要
３．セグメント別概況
　　①アドテク事業
　　②O2O事業
４．総括

決算サマリ

大手顧客の取り組み内容変更の影響を受け減収減益

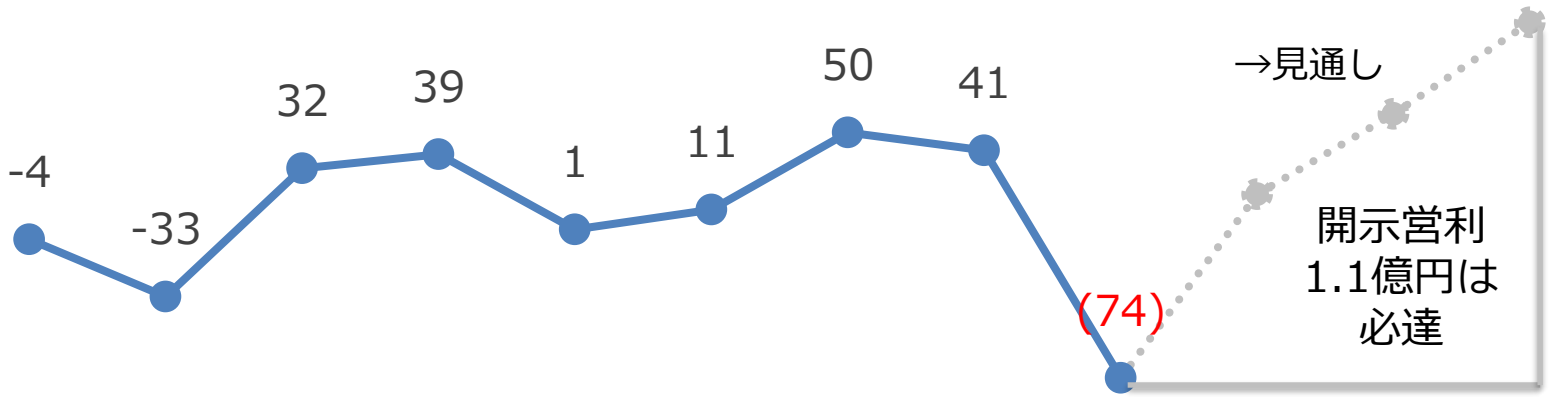
単位：百万円	2017年 1-3月	2018年 1-3月	対前年 同期差額
売上高	673.4	630.5	-42.9
営業利益	1.1	-74.0	-75.1
経常利益	0.8	-75.8	-75.0
当期純利益	0.8	-80.0	-79.2

日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

全社営業利益の推移

１Q・２Qから導入の商品および体制により
２Q以降の見通しは年度での変更なし

（単位：百万円）



2018年第2四半期以降の見通し構成要素

2Q以降、以下取り組みを実施し収益基盤を構築

アドテク事業

- Indeedゴールドパートナーに認定、人材広告運用サービスを注力
- 業界初インフルエンサー活用によるアフィリエイトサービスの展開

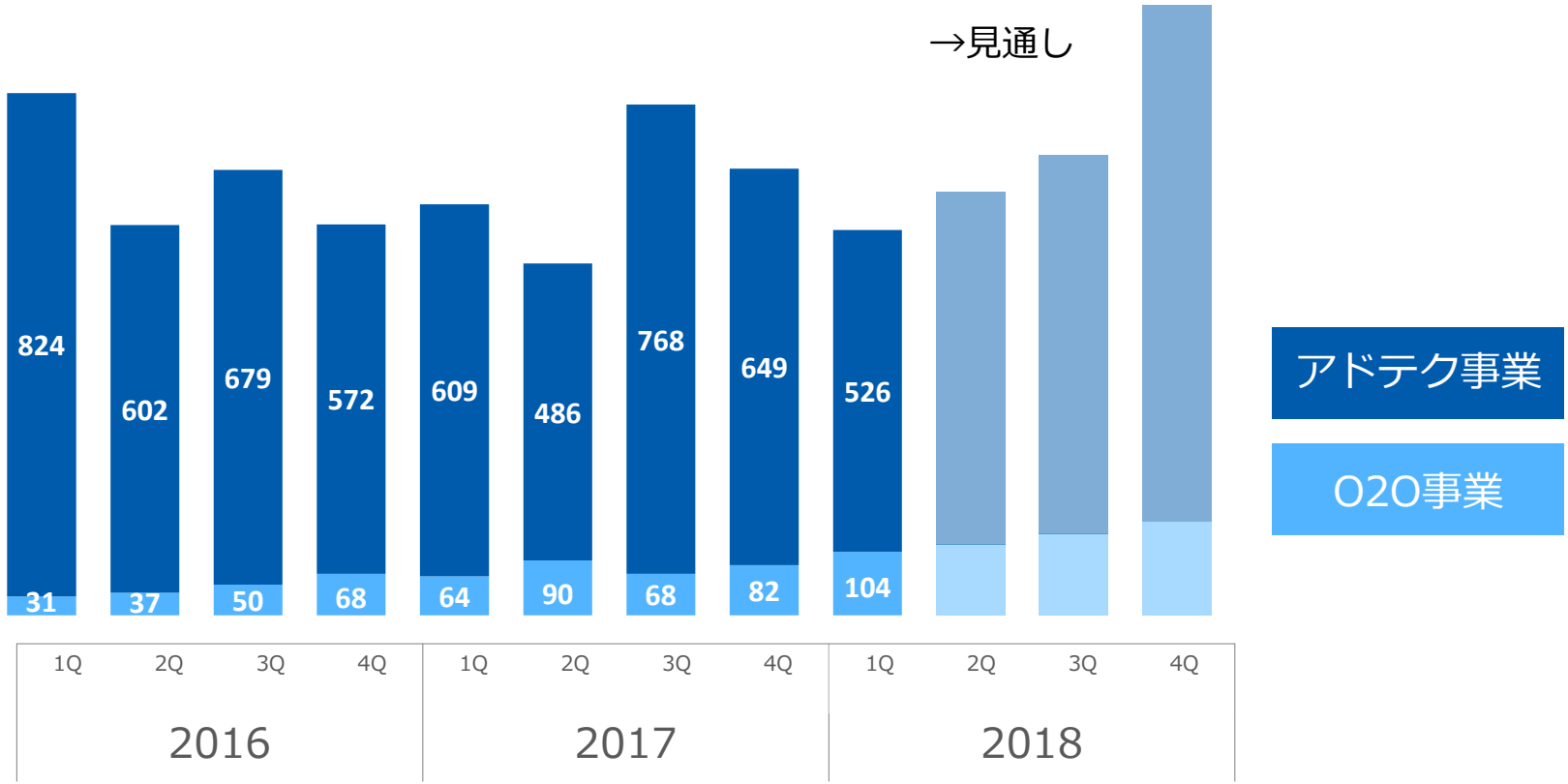
O2O事業

- 総額500億円、IT導入補助金制度を利用したアップカプセルを5月以降販売開始
- 新サービス、電子マネー6/1販売開始

セグメント別売上

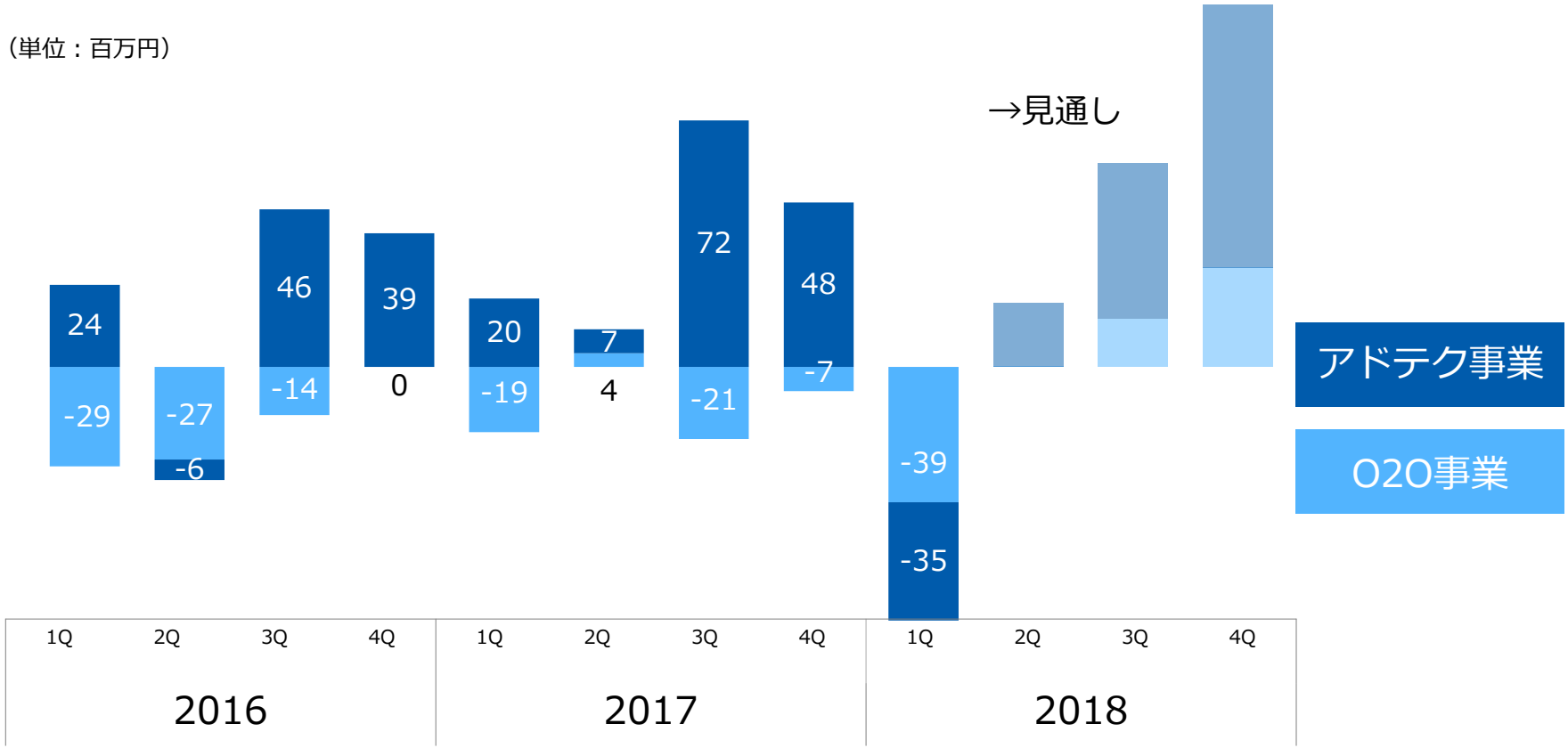
アドテク事業は大手顧客の影響により減収
O2O事業は順調な販路拡大により売上が堅調に推移

（単位：百万円）



セグメント別営業利益

1Qは大きくマイナス。2Q以降は好調な商品の強化およびIT助成金等で回復見通し



業績予想に対する進捗

2Q以降収益性改善の見通しにより
通期業績予想の変更は行わず

単位：百万円

	通期 業績予想	2018年 1-3月	進捗率
売上高	2,900	630.5	21.7%
営業利益	110	-74.0	―
経常利益	110	-75.8	―
当期純利益	65	-80.0	―

日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

1．結論と要約
2．決算概要
3．セグメント別概況
①アドテク事業
②O2O事業
4．総括

貸借対照表サマリ

（単位：百万円）

	2017年 12月末	2018年 3月末	増減
流動資産	1,195	1,031	-164
（現金預金）	536	439	
（関係会社預け金）	300	200	
固定資産	142	223	+81
資産合計	1,338	1,254	-84
流動負債	439	469	
固定負債	3	3	
負債合計	443	472	+29
純資産	895	781	-114
自己資本 （うち利益剰余金）	895(448)	781(336)	
（自己資本比率）	66.9%	62.3%	
負債純資産合計	1,338	1,254	-84

日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

損益計算書サマリ

（単位：百万円）

	2017年1Q	2018年1Q	業績予想	前期比
売上高	673	630	2,900	-6.4
売上原価	511	493		
売上総利益	162	136		
販売管理費	160	210		
営業利益	1	-74	110	-
営業利益率	0.2%	-		
営業外収益	0	0		
営業外費用	0	2		
経常利益	0	-75	110	-
特別損益	0	0		
法人税等	1	3		
当期純利益	-0	-80	65	-

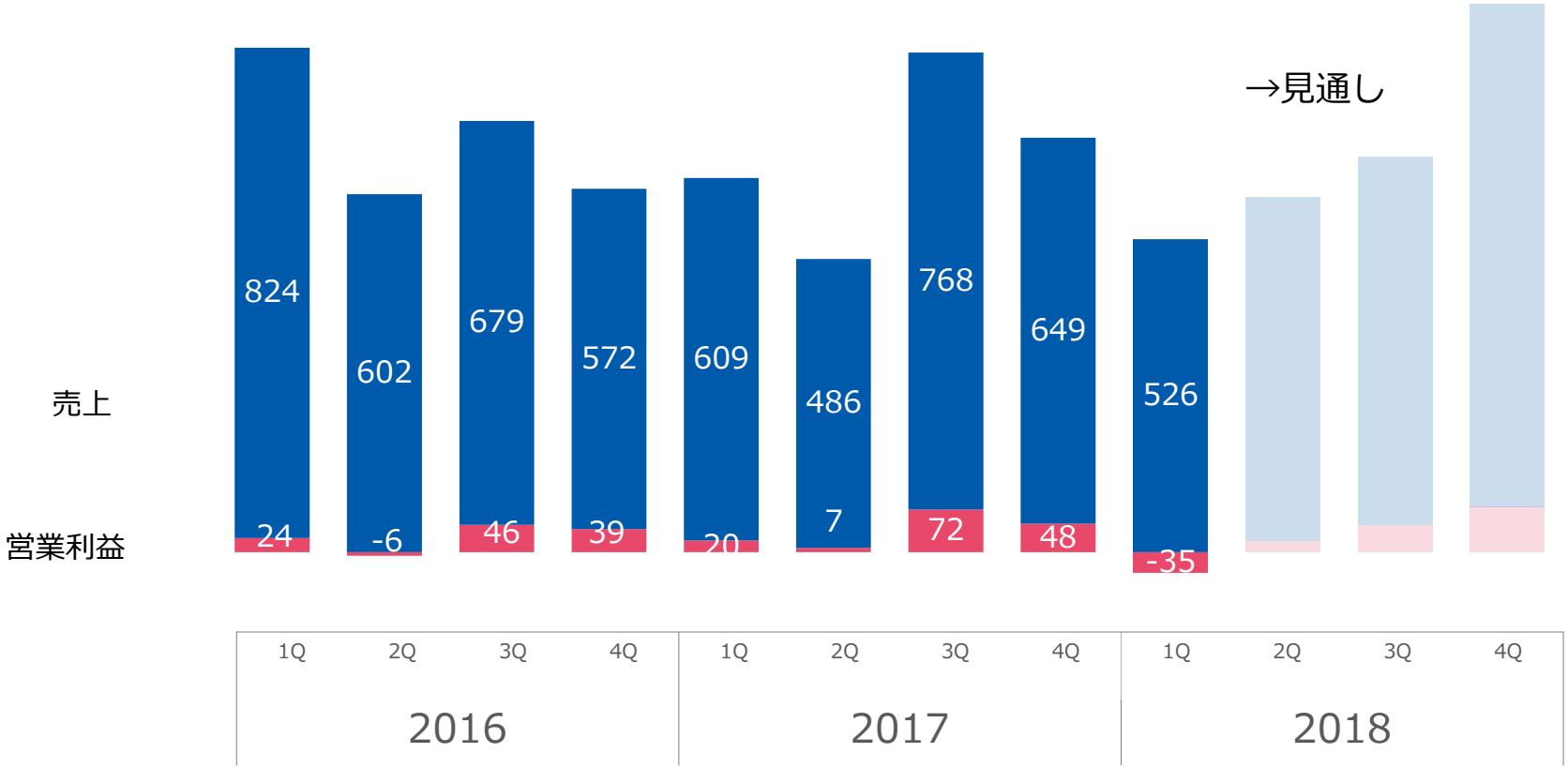
日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

1．結論と要約
2．通期決算概要
3．セグメント別概況
①アドテク事業
②O2O事業
4．総括

アドテク事業の概況

大型顧客の取り組み内容変更および福岡支社開所により大きく減益

（単位：百万円）

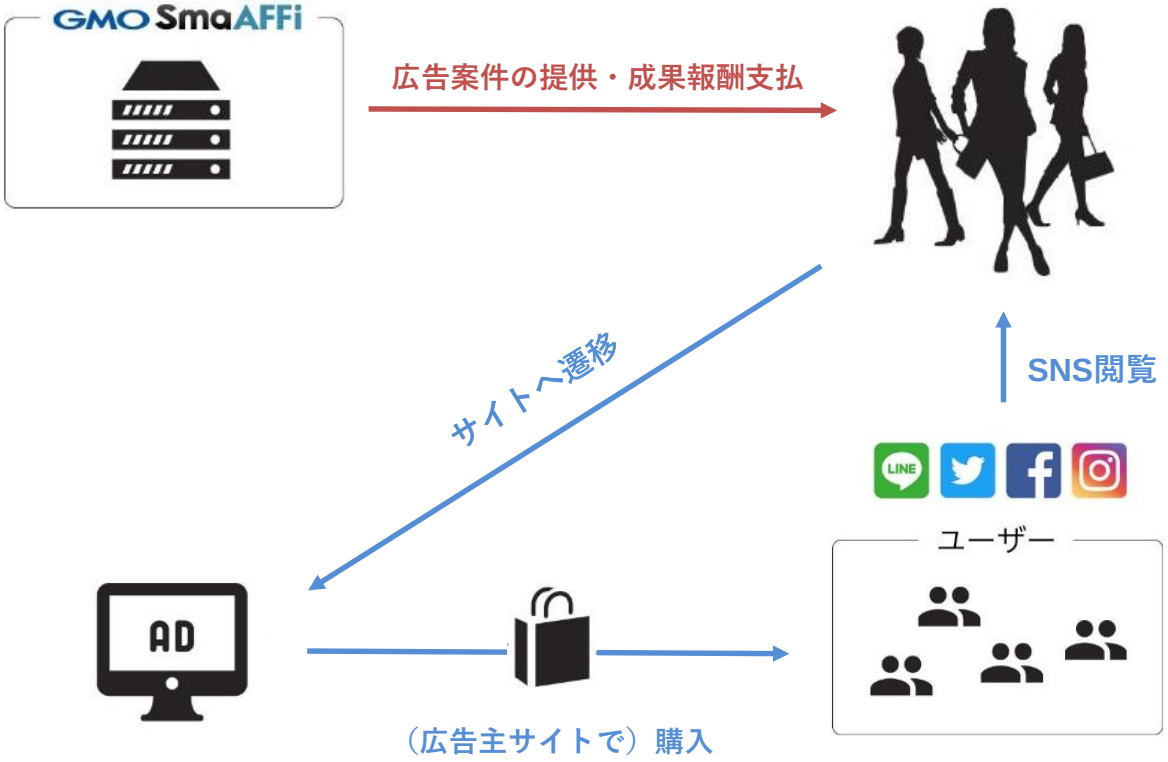


日本を代表する総合インターネットグループへ GMO

アドテク事業 2018年第1四半期 取り組み

アフィリエイト広告領域

業界初のインフルエンサーアフィリエイトを開始



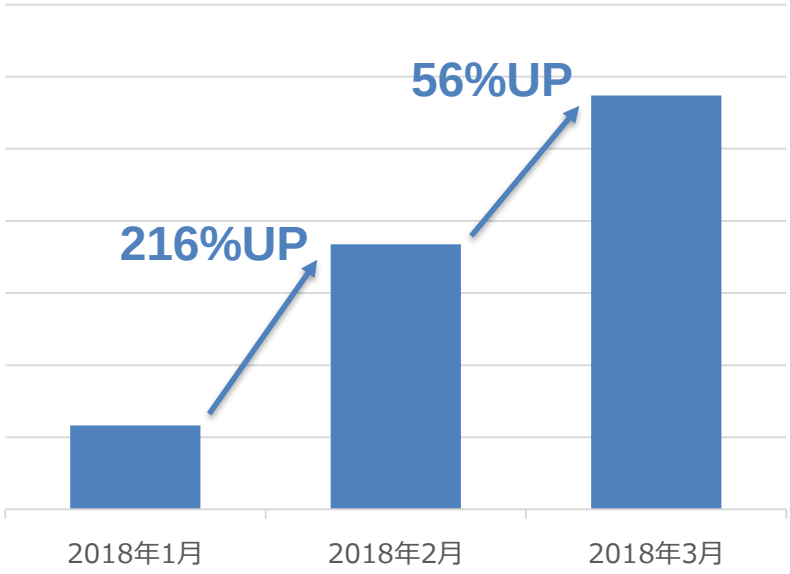
アドテク事業 2018年第1四半期 取り組み

運用型広告

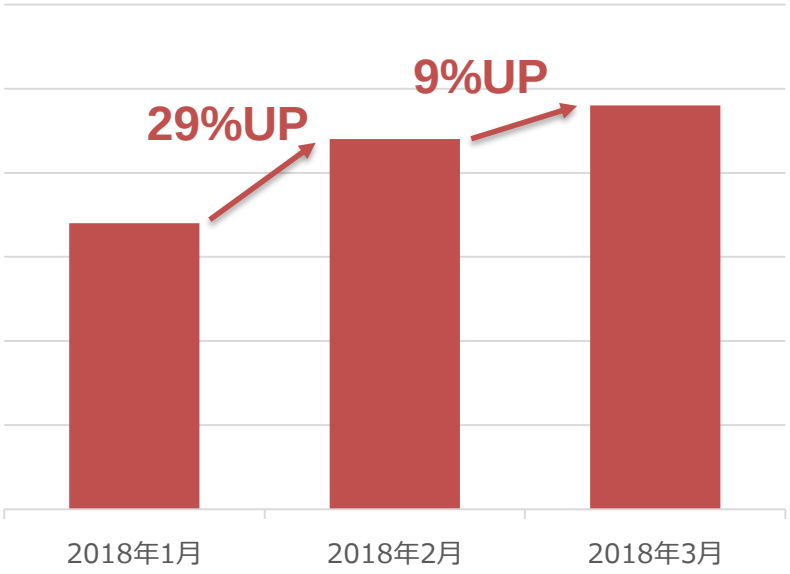
「Indeed認定パートナー制度」ゴールドパートナー認定

好調な人材系広告の営業強化で売上、顧客数向上

売上高



顧客数



アドテク事業 2018年第1四半期 取り組み

営業強化

4月1日に営業強化のため福岡支社を立ち上げ稼働開始

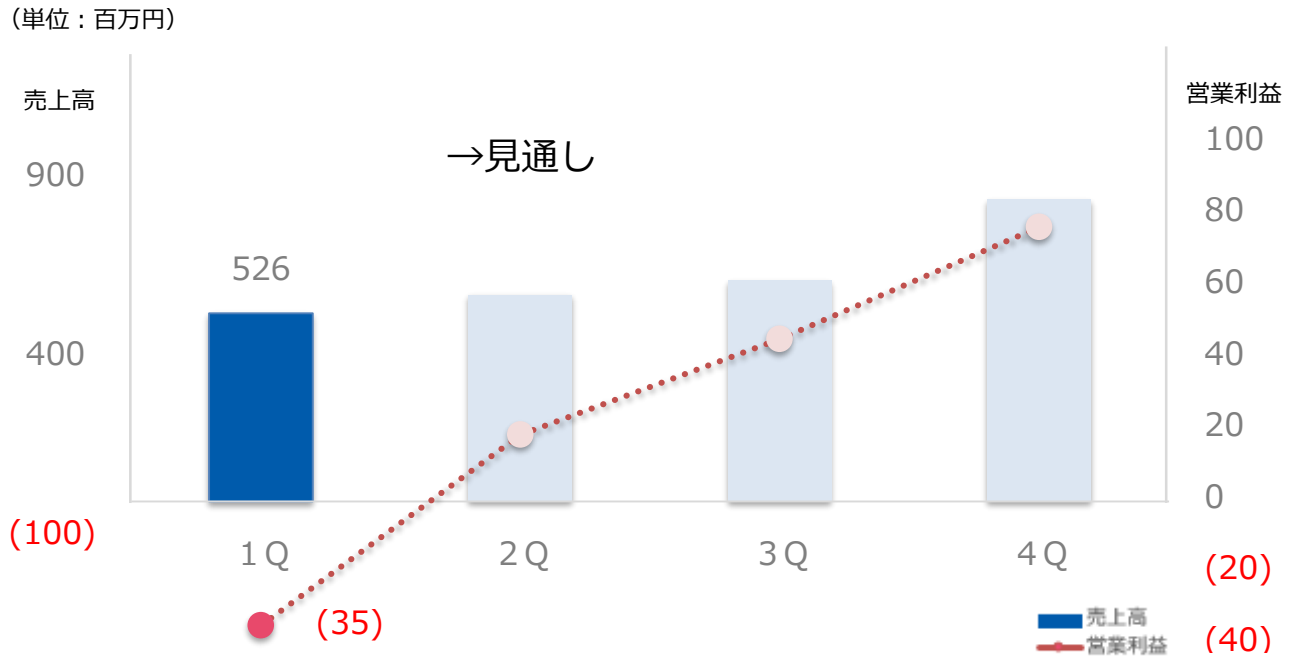


アドテク事業 今後の展望

トップライン拡大と利益体制の追及

業界初のインフルエンサーアフィリエイト

好調なIndeed等の人材系広告の強化

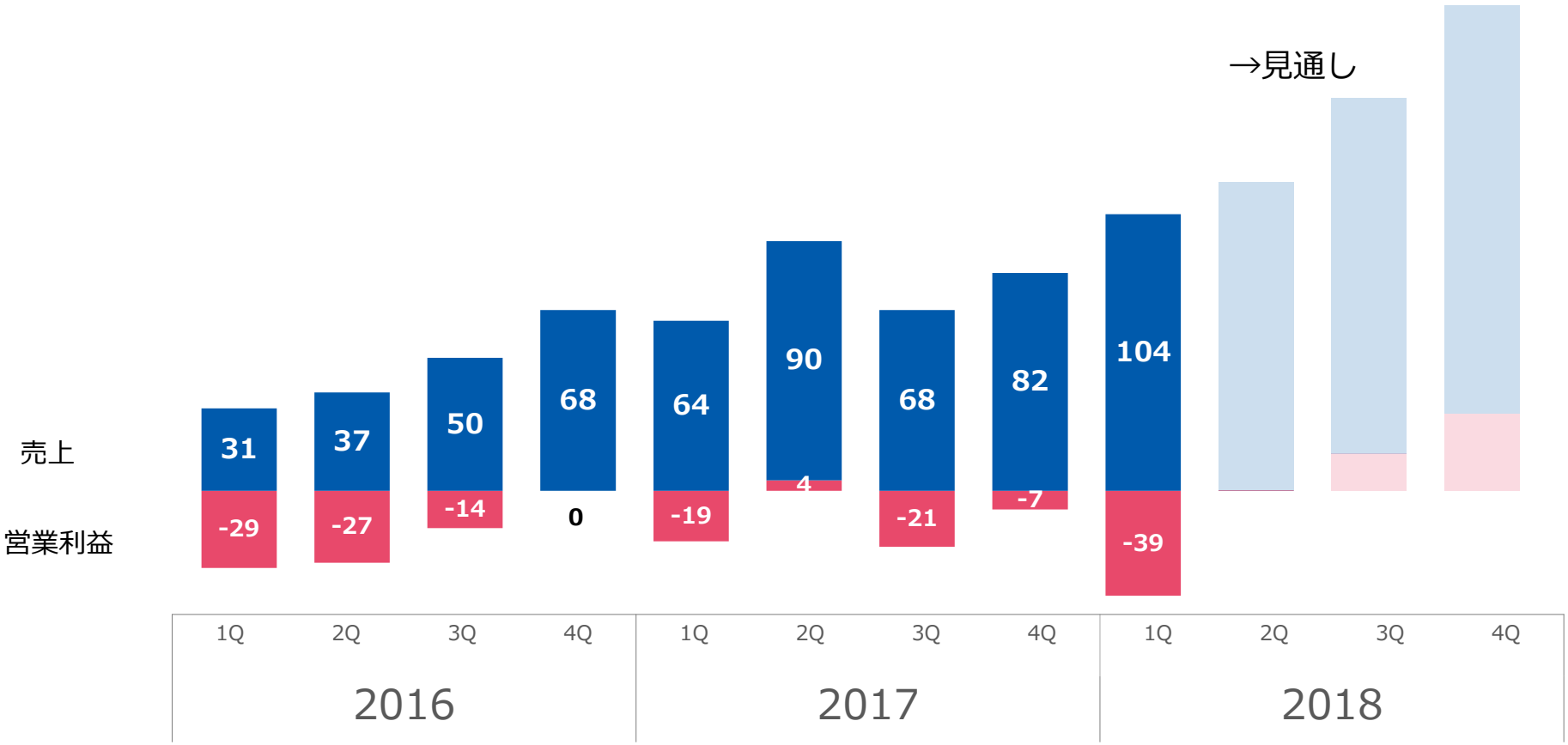


1．結論と要約
2．通期決算概要
3．セグメント別概況
①アドテク事業
②O2O事業
4．総括

O2O事業の概況

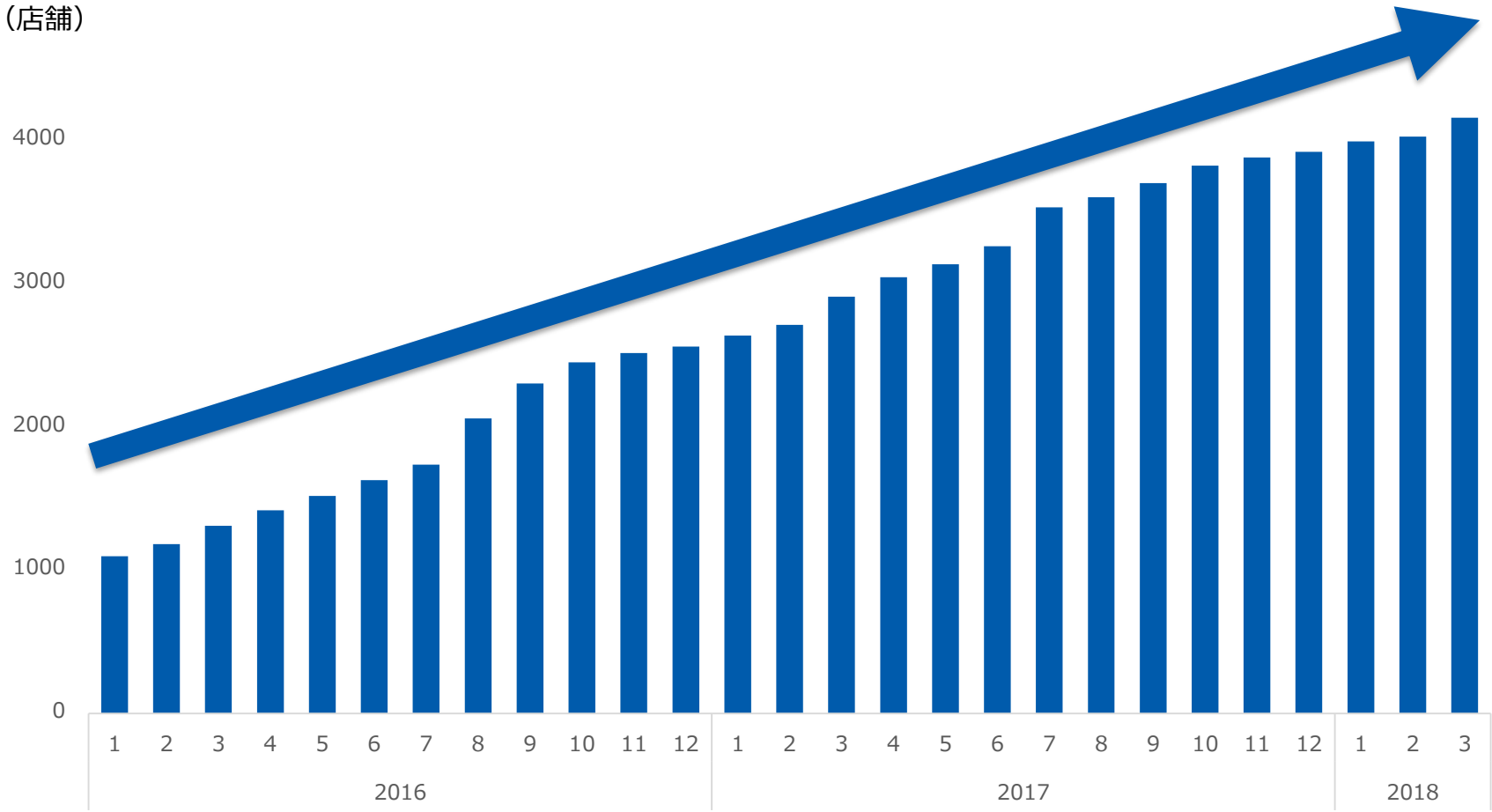
IT導入補助金を利用した拡販
１Q採用人員の戦力化により２Q以降大きく伸長見込み

（単位：百万円）



O2O事業 契約店舗数推移

2018年3月末時点で
累計契約店舗数が4,200店舗を突破し順調に推移



O2O事業 2018年第１四半期取り組み

IT導入補助金

・経済産業省が500億円の予算で実施するIT導入補助金の対象サービスに認定されており、５月以降補助金営業に注力

アップカプセル電子マネー

・６月販売開始し、拡販を目指す

日本を代表する総合インターネットグループへ

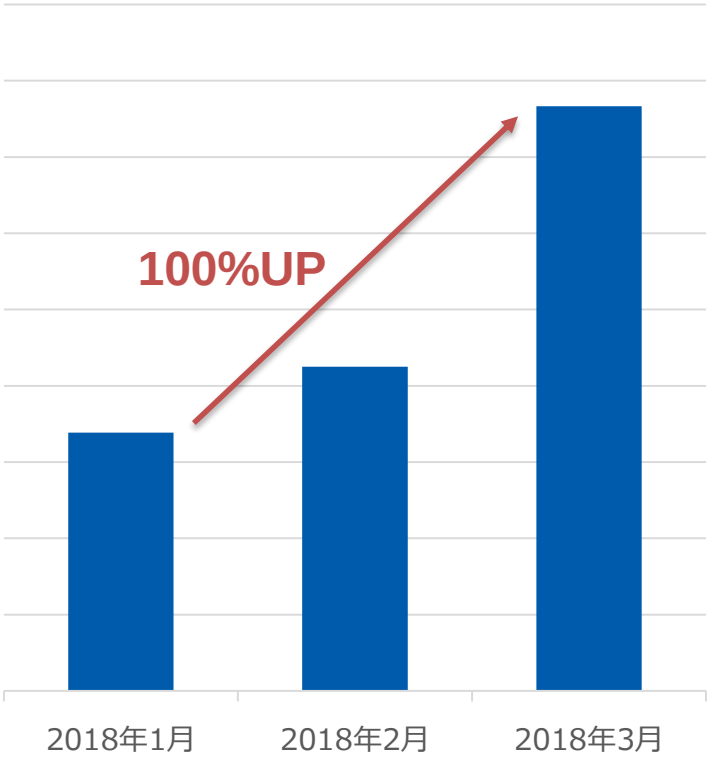
O2O事業 2018年第１四半期取り組み

2018年1月より参画のO2O営業部隊が堅調

１Qで売上は順調に拡大

直近３カ月で売上は100%増

３月については、昨年の補助金案件の更新の影響もあり大きく売上が伸長。



O2O事業 2018年第１四半期取り組み

海外進出

日本の人口減（＝国内店舗の減少）に備え

2018年4月より第１弾商品として

GMOアップカプセルを東南アジア地域へ輸出

- 英語版の完成　2018年4月
- 中国語版の開発予定

日本を代表する総合インターネットグループへ

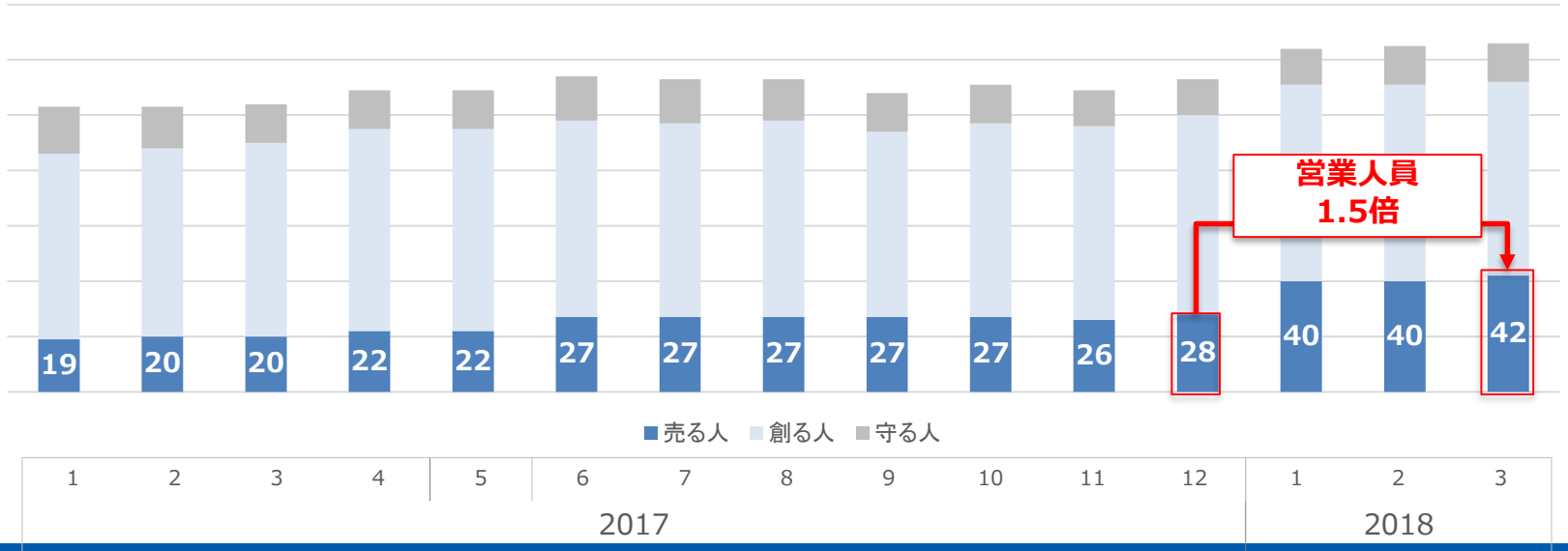
1．結論と要約
2．通期決算概要
3．セグメント別概況
①アドテク事業
②O2O事業
4．総括

回復に向けた今後の見通し

注力事項

- ゴールドパートナーに認定されたIndeed等、人材広告運用サービスを注力
- 業界初インフルエンサー活用によるアフィリエイトサービスを注力
- 総額500億円、IT導入補助金制度を利用したアップカプセルを5月販売開始
- 新サービス、電子マネー6/1販売開始

営業にも強い会社への変化



本資料には、2018年4月27日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。
また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。

Copyright (C) 2018　GMO TECH, Inc. All Rights Reserved.